

Ⅶ 未規制化学物質等の状況

1 調査概要

内分泌かく乱化学物質については、環境省が魚類への内分泌かく乱作用の疑いがあるとした3物質を調査した。

また、PRTR法対象化学物質については、同法に基づく届出で公共用水域への排出量を毒性で重み付けをした値が高く排出源が県内広範囲に分布する2物質を調査した。

残留性有機汚染物質等については、生物蓄積性があり難分解性で長距離移動性があるPOPs条約規制物質に追加された1物質及び難分解性の1物質を調査した。

有機スズ化合物については、最近5年間の調査で環境省が設定した公共用水域の「水質評価の(暫定)目安値」(0.01 μ g/L)を超えたことがある2地点について2物質を調査した。

2 調査結果

(1) 調査物質

内分泌かく乱化学物質 (3物質)	ノニルフェノール、4- <i>tert</i> -オクチルフェノール、 ビスフェノールA
---------------------	---

PRTR法対象化学物質 (2物質)	N,N'-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド、 <i>o</i> - エチル=0-4-ニトロフェニル=フェニルホスホノ チオアート
----------------------	--

残留性有機汚染物質 (2物質)	パーフルオロオクタンスルホン酸及びその塩、 パーフルオロオクタン酸及びその塩
--------------------	---

有機スズ化合物(2物質)	トリブチルスズ化合物、トリフェニルスズ化合物
--------------	------------------------

(2) 調査地点及び調査対象

表Ⅶ-1、2及び3の県内6地点の水質並びに表Ⅶ-4の県内2地点の水質

(3) 調査結果

ア 内分泌かく乱化学物質

内分泌かく乱化学物質の検出率は、17%であった。

ノニルフェノール及び4-*tert*-オクチルフェノールは、全ての地点で報告下限値未満であった。

ビスフェノールAの検出率50%は、直近5年間の全国調査の検出率65%を下回った。

イ PRTR法対象化学物質

PRTR法対象化学物質2物質は、全ての地点で報告下限値未満であった。

ウ 残留性有機汚染物質

残留性有機汚染物質の検出率は、100%であった。

パーフルオロオクタンスルホン酸及びその塩の検出率は100%で、直近5年分の全国調査の検出率94%と同等であったが、直近の全国調査(平成24年度)の検出範囲(0.1ng/L未満~9.8ng/L)に比べて高くなかった。

パーフルオロオクタン酸及びその塩の検出率は100%で、直近5年分の全国調査の検出率99.7%と同等であったが、直近の全国調査(平成24年度)の検出範囲(0.31ng/L~110ng/L)に比べて高くなかった。

エ 有機スズ化合物

トリブチルスズ化合物、トリフェニルスズ化合物ともに、2地点とも公共用水域における水質評価の目安値以下であった。

表Ⅶ－１ 平成 27 年度未規制化学物質調査結果（内分泌かく乱化学物質） 単位：μg/L

地点名	物質名	ノニルフェノール	4-tert-オクチル フェノール	ビスフェノールA
狩野川	（黒瀬橋）	<0.1	<0.01	0.01
黄瀬川	（黄瀬川橋）	<0.1	<0.01	0.40
来光川	（蛇ヶ橋）	<0.1	<0.01	<0.01
大場川	（塚本橋）	<0.1	<0.01	0.01
富士川	（富士川橋）	<0.1	<0.01	<0.01
芝川	（芝富橋）	<0.1	<0.01	<0.01
報告下限値		0.1	0.01	0.01
報告下限値以上/検体数		0/6	0/6	3/6

表Ⅶ－２ 平成 27 年度未規制化学物質等調査結果（PRTR 法対象化学物質）

（単位：N, N' -ジメチル^oテシラミン=N-オキソ^o; ng/L、O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホノチオアート; μg/L）

地点名	物質名	N, N' -ジメチル ^o テシラミン=N-オキソ ^o	O-エチル=O-4-ニトロフェニル =フェニルホスホノチオアート
狩野川	（黒瀬橋）	<3	<0.06
黄瀬川	（黄瀬川橋）	<3	<0.06
来光川	（蛇ヶ橋）	<3	<0.06
大場川	（塚本橋）	<3	<0.06
富士川	（富士川橋）	<3	<0.06
芝川	（芝富橋）	<3	<0.06
報告下限値		3	0.06
報告下限値以上/検体数		0/6	0/6

表Ⅶ－３ 平成 27 年度未規制化学物質等調査結果（残留性有機汚染物質等） 単位：ng/L

地点名	物質名	パーフルオロオクタンスルホン酸及びその塩	パーフルオロオクタン酸及びその塩
狩野川	（黒瀬橋）	0.47	1.2
黄瀬川	（黄瀬川橋）	1.5	3.0
来光川	（蛇ヶ橋）	0.31	1.3
大場川	（塚本橋）	1.6	1.6
富士川	（富士川橋）	0.25	2.0
芝川	（芝富橋）	0.09	1.1
報告下限値		0.04	0.04
報告下限値以上/検体数		6/6	6/6

表Ⅶ－４ 平成 27 年度未規制化学物質調査結果（有機スズ化合物） 単位：μg/L

地点名	物質名	トリブチルスズ化合物	トリフェニルスズ化合物
安良里漁港		0.004	<0.005
戸田漁港		0.010	<0.005
水質評価の目安値		0.01	0.01
水質評価の目安値超過/検体数		0/2	0/2